



かどましりつとしょかんだより

2024年 7月 第42号

いよいよまちにまった夏休みがやってきます。楽しい夏休みにするために、こまめに水分をとって、暑いところで長い時間遊ばないようにしましょう。図書館では、司書おすすめの本をつめたおたのしみ袋や手づくり遊びの会、おはなし会などさまざまなイベントを開催します。いつも図書館に来てくれる人もまだ来たことがない人も、ぜひ遊びに来てくださいね。

おすすめの本

「うかぶかな？しずむかな？」

川村 康文／文 遠藤宏／写真 岩崎書店



えほん

おおきいすいそうにおみずをいれて、おもちゃをよういしょう。ミニカー、ボール、ねんど…きみのおもちゃをすいそうにいれてみたら、うかぶかな？それともしずむかな？じぶんでたしかめてみたくなるじっけんのほん。でも、ぬれてもへいきなものだけにしてくださいね。

「うるさく、しずかに、ひそひそと」

ロマナ・ロマニーシン／著 広松由希子／訳 河出書房新社

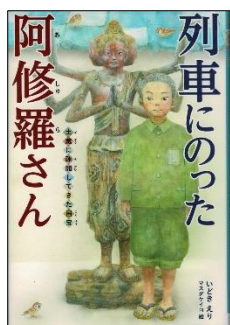


えほん

おとめ音は目に見えないが、目をつむってみるといろいろな音がしていることに気づきます。高い音、低い音、おなじみの音、新しい音、さわがしい音…。音ってなに？聞くってどういうこと？という疑問をカラフルな絵と詩のようなわかりやすい言葉で語りかけてくれます。見ているだけで楽しい絵本です。

「列車にのった阿修羅さん」

いどきえり／著 くもん出版

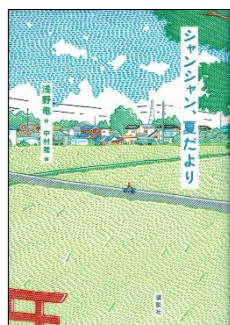


よみもの

1945年、空襲が激しくなっていく中、阿修羅像は奈良の興福寺から列車で吉野へ運び込まれ、少年・総一郎の家の土蔵にあずけられた。総一郎は阿修羅像が好きで、戦いの神様と知り日本が戦争に勝つよう祈っていた。やがて戦争が終わり、阿修羅が手を合わせているほんとうのわけを知る。実際にあった出来事をもとに作られたお話。

「シャンシャン、夏だより」

浅野竜／作 講談社



よみもの

転校生のちとせに言われ、初めて自分の住む町でクマゼミが鳴いていることに気づいたノブトは、自由研究で市長賞をとるため、クマゼミをつかまえることに。クラスになじもうとしないちとせと関わっていくうちに、彼女のお母さんが死んでしまったこと、引っ越しばかりしていることを知る。前向きに生きる強さを教えてくれる1冊。

としょかんからのお知らせ

英語で楽しむおはなしの会

とき：7月13日（土）午前11時～11時45分

ところ：門真市民プラザ

「にんじんとごぼうとだいこん」（英語版）ほか

夏のおはなし会

とき：7月20日（土）午前11時～11時45分

ところ：門真市民プラザ

「ありとすいか」ほか

夏のおたのしみ会

とき：7月24日（水） ところ：本館

◆午後2時～ 映画上映会

「すみっコぐらし 青い月夜のまほうのコ」

◆午後3時～ おはなしのじかん

終了後は、雑誌のふろく等をくじ引きでプレゼント

夏の手づくり遊びの会

とき：7月20日（土）午前10時30分～正午

ところ：本館

「つくってあそぼう！ビー玉ゲーム」
参加したい人は、7/9（火）以降に本館に申し込みきてね

こわ～いおはなし会

とき：8月20日（火）午後4時～

ところ：本館

次号は10月上旬に発行予定

